

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	災害支援活動事業	会計	一般会計	事業No.	643	施策順No.	41-028
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-1-20-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	危機管理・交通安全対策室		
施策	41 災害対策の推進			事業期間	開始	22	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	災害被災者、被災地						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		東北地方(東日本地域)の被災者				-	-		
		被災地からの受入避難住民人数				103	55		
意図		災害復興に向けて支援する							
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		被災地へ支援のために派遣した職員数				40	43		A
		受入避難住民への義援金				1000	1308	1500	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	被災地からの要請による緊急対応につき目標設定にそぐわない								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	平成23年3月11日発災の東北沖大震災に伴う、東日本方面への災害対応支援派遣及び南相馬市からの避難住民の生活支援を行います。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1. 災害支援派遣 ①市立病院DMAT隊 ②県医療救護班 ③飯田市給水車隊 ④渋谷区給水隊	1①派遣延べ人数 1②派遣延べ人数 1③派遣延べ人数 1④派遣延べ人数	1① 16人 1② 24人 1③ 56人 1④ 4人
	2. 南相馬市被災者受入支援 3月17日～継続中 ①受入隊 バス5台、トラック1台 ②受入施設運営管理 ③受入被災者への義援金支払い	2①派遣延べ人数 2②受入施設数 2③義援金	2① 44人 2② 3施設 2③ 1,308千円
23年度実施計画	1. 災害支援派遣・受入 ①医療支援隊 ②美術品修復支援 ③その他支援		
	2. 南相馬市被災者受入支援 ①生活支援経費 ②受入被災者への義援金支払い		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		9,449	6,156	6,776		
計 (A)		9,449	6,156	6,776		
正規職員所要時間			300			
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			1,073			
トータルコスト A+B			7,229			

4 事業に対する市民や議会の意見

義援金を含め多くの支援の協力がある

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分		具体的な取組事項	
21年度決算と比べての効果額(千円)		効果額説明(算出根拠)、特殊要因	

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民や市内滞在者、財産について、災害や火災による被害が軽減される。	施策の成果指標又はムトス指標	市民への防災意識高揚
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・緊急事態ではあるが、災害協定締結自治体への支援協力ができた		
	後期に向けた課題	・必要に応じて支援に努める		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・緊急事態であり、出来るだけの支援に努めた		
	後期に向けた課題	・出来るだけの支援に努める		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・基本は被災者に最低必要な生活支援からスタートした		
	後期に向けた課題	・復興の状況をみながら、再建に向けた自立・自活生活支援への移行の検討		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・緊急事態であり、受益者負担を求めることは不可能		
	後期に向けた課題	・避難者の全てが、自立・自活生活への支援策		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①主体は避難者であるが、市民・各種団体が物資・資金両面で支えてきた ②被災者の受入、義援金の受付と送金、救援物資の受入と発送		
	後期に向けた課題	・行政として、被災地や被災者に対する支援は必要である		
全体を通じて	4年間の振り返り	・支援要請に基づき、対応できた		
	後期に向けた課題	・行政として、被災地や被災者に対する支援は必要である		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------